

令和 7 年度事業実施報告書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

はじめに

令和 7 年度は、全国各地で記録的な大雨・猛暑・大雪による被害の報道が相次ぎ、交通機関や社会生活、インフラにも多大な影響を及ぼすなど、これまでに経験したことのない異常気象が続発した一年となりました。また、エネルギー価格や原材料費の高止まり、円安の影響などにより物価上昇が続き、特に食料価格の高騰は国民生活に大きな負担をもたらしました。

こうした状況の中、子どもたちの成長を支える学校給食の現場においても、食材の確保や献立内容の維持に一層の工夫が求められるなど、学校給食を取り巻く環境は厳しい状況が続き、給食を基に実践される食育や栄養面への影響も懸念される一年となりました。また、令和 8 年 4 月からは、「学校給食費の抜本的な負担軽減」が開始され、公立小学校及び義務教育学校前期課程においては、一人当たり月額 5,200 円（完全給食実施校の場合）が国から支援される予定です。

これらの社会情勢を踏まえ、当協会におきましては、その目的である「学校給食に関する調査研究、改善等に資する事業を行うとともに学校給食を通じた食育の推進を図り、もって学校給食事業の向上発展に寄与し、児童生徒のこころとからだの健康の促進に寄与すること」の達成に向けて、関係機関と連携しながら各種事業を実施してまいりました。

まず、調理講習会については、内容の充実を図りながら引き続き注力し、令和 7 年度は 20 県（23 か所）で開催いたしました。また、親子料理教室についても 18 県（60 か所）で実施することができました。調理講習会では、栄養教諭・学校栄養職員の方々から各地の現場における意見や情報を直接伺う形式としたことで、具体的な提案や課題をリアルタイムで把握することができ、さまざまな視点からの利活用や改善につなげることができました。また、講師による講演は科学的根拠に基づいた内容であり、元栄養教諭としての実践経験を踏まえた実用的で理解しやすい講演内容となりました。さらに、講師から直接話を聞くことができるほか、参加者同士で情報共有や意見交換を行う機会にもなり、食育にもつながる献立内容とあわせて、参加者からも有益な学びの場として大変好評をいただきました。

次に、12 月には学校給食普及改善委員会を開催いたしました。本委員会には、全国各地の栄養教諭および学校給食会関係者からなる推進委員が出席し、それぞれ学校給食現場における課題や取組事例など、現状について幅広く意見交換を行いました。委員会において寄せられたさまざまな意見や提案については、当協会において取りまとめを行い、その内容の一部は令和 8 年度の調理講習会の内容にも反映するなど、改善に向けた取組に活用しております。今後につきましても、各種事業の充実・改善に活用してまいります。

その他の詳細な報告内容につきましては、以下のとおりでございます。

公 食育推進事業

I. 食育の推進に関する活動

1. 普及活動

(1) 調理講習会

開催状況： 開催予定 21 県に対し、実施 20 県 23 ケ所 参加者 701 名
(前年実績：実施 20 県 21 ケ所 参加者 626 名)

(2) 親子料理教室

開催状況： 開催予定 18 県に対し、 実施 18 県 60 ケ所 参加者 3,040 名
(前年実績：実施 18 県 50 ケ所 参加者 3,180 名)

(3) 講師の紹介及び派遣

(公社)全国学校栄養士協議会や県学校栄養士会の要請により研修会や調理講習会に講師の紹介及び講師の派遣をしました。

○調理講習会への講師派遣

＜講師＞ 栄養士 岩島由美子
北海道、秋田県、愛知県、愛媛県、福岡県

＜講師＞ 管理栄養士 村山佳子
福島県、新潟県、神奈川県、広島県、島根県、沖縄県

(4) 食育推進支援活動

困難な時代を生き抜くことのできる強い意志と丈夫な身体をもつ大人を育てるために、健全な生活習慣と食に関する自己管理能力を身につけるための活動を支援してまいりました。

(5) 学習支援ツール「食の成長ログ」アプリの開発

2025 年 4～12 月は、実証結果を踏まえた 2 次改修、デモ環境整備、手順・問合せ資料整備、関係者説明および本番環境テストを推進し、併せて利用規約・プライバシーポリシー等の整備と商標等の対外手続の準備を推進しました。

2026 年 1～3 月は、上記成果を引き継ぎつつ全体を棚卸しした上で、行政および食育・栄養分野の有識者の助言を得ながら、全国の学校現場の子どもたちと栄養教諭に確実に届けられることを目標に、現場負担を抑えた提供・運用を大前提とした「食育支援」のためのアプリ再設計に着手しました。

2. 広報活動

(1) 「日本の学校給食」パンフレット 4 ヶ国語版の活用

日本の学校給食パンフレットは日本語版に続き、英語版・中国語版・韓国語版の 4 ヶ国語を作成しております。世界一と言われる素晴らしい日本の学校給食の取組を、様々なルートを通じて国内外に幅広く広報発信しております。その効果として、学校給食をテーマとした各種大会には、台湾・中国からの来訪者が増え、日本の学校給食や当協会の取組を直接伝える機会が増えました。

(2) 機関情報紙「すこやか情報便」の発行

アプリ事業推進のため、行っておりません。

(3) ホームページの活用

協会の活動内容及び学校給食・食育関連に関する最新情報について、関係者のニーズを踏まえながら積極的な情報発信に努めており、国内外の学校教育関係者はじめ多くの方々にご訪問いただいております。

その一例として、2 月にはホームページを通じて在日ウズベキスタン大使館から協力要請を受け、同国代表团による訪日視察の受入れに協力いたしました。

(4) 学校給食・食育をテーマとした各種大会への参加

【令和 7 年度に行われた各種大会】

名 称	日 程	場 所
第 20 回食育推進全国大会	2025/6/7～8	徳島県
第 2 回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会	2025/8/5～6	茨城県

秋のキッズフェスタ 2025	2025/10/25	東京都
第9回栄養教諭食育研究大会	2025/11/2	滋賀県
令和7年度北海道栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会	2026/1/8	北海道
令和7年度「早寝早起き朝ごはん」全国協議会総会・未来を拓く子供応援フォーラム	2026/3/13	東京都

II. 学校給食事業に関する助成

1. 下記の団体に対し事業運営費の助成を行いました。【敬称略】

(1) (公社) 全国学校栄養士協議会 (会長 長島美保子)

(2) 栄養教諭食育研究会 (代表幹事 中馬和代)

* 一般社団法人日本学校調理師会 (会長 平賀幸子) は、「食の安全に関する調理員講習会」の開催中止につき助成は見合わせました。

III. 学校給食の状況に関する調査研究等の活動

1. 海外の学校給食事情視察研修

昨今の世界情勢を鑑み、今年度につきましても実施には至りませんでした。今後の世界情勢につきましても予測不可能なことから、当分の間休止いたします。

2. 給食関係者との連携強化

当協会では、(公社) 全国学校栄養士協議会、栄養教諭食育研究会、全国の栄養教諭・学校栄養職員との連携を強化し、学校給食現場の課題や取組状況の把握、意見交換を実施しました。収集した情報は、調査研究やホームページによる情報発信に活用し、学校給食の充実・改善および食育推進に資しています。

IV. 給食物資に関する調査研究並びに供給

1. 学校給食用優良食品の開発研究

令和7年度は、(公社) 全国学校栄養士協議会との共同事業である「学校給食用食品開発会議」は3回会合を持ち、以下の取組を進めました。

(1) 学校給食用非常食(救給シリーズ)については、消費者庁による食品表示基準の一部改正に対応するため、包材表示の見直し準備を進めました。

(2) その他全学栄製品・全学栄すいせん製品の開発改良の取組については、既存製品の魅力をさらに高めるための改良案を協議し、試作を重ねて検討を行ってまいりました。完成させた製品については、令和8年度よりリニューアル発売を予定しております。

2. 全学栄製品・全学栄すいせん製品の変更内容と工場査察実施状況

(1) 本年度は(公社) 全国学校栄養士協議会理事会において、17件の全学栄製品及び全学栄すいせん製品の安定供給のため主要原材料の産地変更・配合変更等を報告し、承認されました。

(2) 「全学栄関連製品 製造工場認定基準」により6メーカー、6工場の製造工場査察を実施しました。

3. その他関連省庁・組織・団体との連携

学校給食に関する様々な取り組みを文部科学省、農林水産省、(公社)全国学校栄養士協議会、栄養教諭食育研究会、(一社)全国学校給食推進連合会、(公財)都道府県学校給食会、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会、(一社)Jミルク、その他関係諸団体と連携・推進してまいりました。

V. その他目的を達成するために必要な事業

1. 「学校給食普及改善委員会」について

令和7年度の学校給食普及改善委員会は、全国各ブロックの栄養教諭および学校給食会関係者からなる推進委員のうち15名が出席し、12月に開催されました。委員会では、学校給食を取り巻く現状や諸課題、各地における取組など各種テーマについて幅広く意見交換が行われました。各地の給食現場における状況や実践事例などの貴重な意見を共有することができ、学校給食を取り巻く現状の把握および今後の調査研究活動の推進に資する内容となりました。

以上